

令和6年度採用 さいたま市立学校教員採用選考試験
第2次試験 面接試験
中学校・高等学校・中等教育学校教員 社会 実施要領

- 1 日時 令和5年8月5日(土) 10時30分 ～ 17時15分
- 2 会場 さいたま市立浦和大里小学校
- 3 内容 個人面接、教科等の専門性に係る質問
- 4 日程 諸注意・概要説明 10時20分 ～ 10時30分
個人面接、教科等の専門性に係る質問 10時30分 ～ 17時15分
- 5 個人面接、教科等の専門性に係る質問の内容
 - (1) 教科の知識に関すること
 - (2) 教科の実践力に関すること
 - (3) 指導と評価に関すること

6 実施方法

時 間	試 験 内 容	場 所
25分	個人面接、教科等の専門性に係る質問	試験室

令和6年度採用 さいたま市立学校教員採用選考試験
第2次試験 中学校・高等学校・中等教育学校教員 社会
個人面接、教科等の専門性に係る質問例

1 教職全般に係る質問

(1) 人間性・社会性に関すること

- ア 教職を志望した理由は何ですか。
- イ 教員の仕事で一番大切なことは何ですか。
- ウ 学校には、教員以外にも多くの職員が勤務し、協力して教育活動を行っています。他の職員とどのようにコミュニケーションを図ろうと考えますか。

(2) 教員としての資質・能力に関すること

- ア 体罰・暴言等教員の不適切な指導が問題となっています。あなたは、このことについて、どのように考えますか。
- イ 児童生徒や保護者と信頼関係を築くために、大切なことは何だと考えますか。
- ウ 「いじめ」を未然に防ぐために、日頃からどのような指導を行いますか。

2 教科等の専門性に係る質問

(1) 教科の知識に関すること

- ア 北緯 50 度付近に位置するオランダでは、どの方角を向いて風車が立てられると考えられるか、答えなさい。
- イ 第一次世界大戦では、それまでの戦争と比べて期間も死者も長大化しました。なぜ、そのようになったか、兵器と戦術にそれぞれふれながら説明しなさい。

(2) 教科の実践力に関すること

- ア 地理的分野の「日本の諸地域」では、5つの考察の仕方を基にして、資質・能力を育んでいきます。「自然環境を中核とした考察の仕方」「その他の事象を中核とした考察の仕方」以外にどのような考察の仕方があるか、2つ答えなさい。
- イ 公民的分野の「私たちと現代社会」の学習指導において、あなたは単元全体に関わる課題(問い)をどのように設定しますか。また、学習指導要領によってこの単元において扱うとされている内容を4つ以上答えなさい。

(3) 指導と評価に関すること

- ア 粘り強く、試行錯誤しながら課題解決に取り組んでいる姿が見られた生徒が、単元を終えたふりかえりの記述において、「おおむね満足できる」状況(B)に達していると判断できる記述が書けない場合、どのような支援が考えられるか2つ答えなさい。
- イ 生徒の「自らの学習を調整しようとしながら粘り強く取り組む状況」を評価するにあたって、あなたはどのような生徒の姿に着目しますか。「自らの学習を調整しようとする側面」と「粘り強い取組を行おうとする側面」のそれぞれについて答えなさい。